

Zoom を利用した、オンライン開催

アグリラボいとしまワークショップ

土を知って、コスト削減!

肥料価格の高騰が世界的にも問題となっています。今回は九州大学大学院農学研究院の土壌学と園芸学をご専門の先生方から、肥料の効果的な使い方や「過剰施肥」をしない合理的な施肥方法などについてお話しいただきます。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時 2022年10月22日(土)13時開演

参加費無料・事前申込必要(10月19日(水)まで) (12:40 受付開始)

第1部 土を知って肥料を効果的に使おう

九州大学大学院農学研究院 土壌学分野 教授 平舘 俊太郎 氏

施肥した窒素の約半分は植物に利用されず、地下水や河川を汚染しているのが現状です。土の機能と窒素の土の中での動きを知れば、高騰必至の窒素肥料を無駄にせず、コストの低減にもつながる効果的な使い方のヒントが生まれます。講演では、とくに糸島地域の土をとりあげて、その特徴などを説明します!



第2部 施肥方法を見直そう — 合理的な施肥に向けて —

九州大学大学院農学研究院 園芸学分野 教授 尾崎 行生 氏

農作物は、土壌中の窒素、リン、カリウムなどを吸収しながら成長します。持続的な農作物生産には、生育に必要な肥料分を過不足なく土壌に供給することが重要ですが、生産現場では必要量を大きく超える肥料が投入されている場合があり、作物生育への悪影響が懸念されます。講演では、「過剰施肥」をしない合理的な施肥方法の重要性について話題提供します。



参加・申込方法

参加方法：オンライン視聴 100名程度

原則、Zoom(Web会議システム)によるオンライン視聴として開催いたします。参加者には、後日視聴のためのURLを送信します。

※ただし、視聴のためのネット環境のない方につきましては、定員80名に限り、会場へお越しいただけます。事前にお申し込みいただきましたら、受付番号や会場等をご案内いたします。(定員になり次第、締め切らせていただきます。)

なお、新型コロナウイルス感染症の感染状況により、会場で開催できなくなった場合は、オンライン視聴による実施のみとします。

申込方法：QRコードを読み取り、アカウント登録後お申込み下さい。



QRコードをお使いいただけない場合は、下記連絡先まで、氏名・連絡先(TEL・FAX・メールアドレス)・参加方法をお知らせ下さい。FAXでお申し込みいただく場合は裏面の「参加申込書」をご利用下さい。

アグリラボいとしま事務局

TEL:092-802-4700 FAX:092-802-4541 E-mail:ito-office@agr.kyushu-u.ac.jp

主催 糸島農業産学官連携推進協議会 (通称 アグリラボいとしま)

プログラム

アグリコラボいとしま ワークショップ

土を知って、コスト削減！

13:00 開会あいさつ

13:05 第1部「土を知って肥料を効果的に使おう」

九州大学大学院農学研究院 教授 平館 俊太郎氏

14:05 休憩(10分)

14:15 第2部「施肥方法を見直そう ― 合理的な施肥に向けて ―」

九州大学大学院農学研究院 教授 尾崎 行生氏

15:15 質疑応答

15:35 閉会あいさつ



参加申込書(お申込み期限:10月19日(水))

FAX送付先:092-802-4541

ふりがな	
氏名	
連絡先	TEL: _____ FAX: _____ E-mail: _____ ※オンライン視聴の方は、必ずメールアドレスをご記入下さい。
参加方法 <small>※いずれかに○をご記入下さい。</small>	① オンライン視聴(Zoom) ② 現地会場(定員80名)※参加可能な方には、受付番号をお伝えします。
備考	

※ご記入いただきました個人情報は、このイベントに関わる目的のみに使用し、他の目的には使用いたしません。

<現地会場へお越しの皆さまへ>

○必ずマスクを着用されるようお願いいたします。

○当日発熱・咳などの体調がすぐれない場合は、参加を控えていただきますようお願いいたします。

○会場では、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、座席の間隔を空けて、会場内の換気を行う等対策を行った上で実施いたします。また、発熱・咳・倦怠感等の症状のある方は入場をお断りさせていただく場合がありますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

○新型コロナウイルス感染症の感染状況により、会場での開催ができなくなった場合は、オンライン視聴による実施のみとします。

糸島農業産学官連携推進協議会は、平成22年3月設立以来、「農業生産に係る研究及び生産現場のニーズについて」講演会やワークショップを開催、農産物の鮮度保持やブランド化、情報通信技術の活用、家畜伝染病、市場開拓、地産地消、スマート農業、土づくり、鳥獣害対策など、糸島農業の現場の課題に産学官連携のなかで取り組んできました。地域に根ざした持続可能なこれからの農業を、「まちづくり」の視点から考えます。どなたでもご参加いただけますので、皆様のご参加をお待ちしております。